【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-506408(P2005-506408A)
【公表日】平成17年3月3日(2005.3.3)
【年通号数】公開・登録公報2005-009
【出願番号】特願2003-536340(P2003-536340)
【国際特許分類】
Ｃ０９Ｇ　3/00　(2006.01)
Ａ６３Ｃ　11/08　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０９Ｇ　3/00
Ａ６３Ｃ　11/08

【手続補正書】
【提出日】平成17年10月12日(2005.10.12)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
１０重量％～９０重量％の少なくとも一種のパラフィンワックスおよび１０重量％～９０重量％の少なくとも一種のフルオロポリマー微小粉末から本質的になる組成物。
【請求項２】
請求項１に記載の組成物を用いる方法であって、スノースライダー製品に前記組成物を被着させることを含んでなる方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００５１】
Ｙ５およびＰ５の試験「スキーワックス」材料による幾つかの観察
本発明試験サンプルは、他のサンプルより遙かに高いフルオロ含有率（５０％充填量）を有していたが、しかし、本発明試験サンプル（Ｙ５およびＰ５）は、より低いＣＡを有し、スリップ性／スキーヤー速度の強化に関して他の商用フルオロ系スキーワックス製品と同等か、またはそれらより良好に機能した。
本発明の好適な実施の態様は次のとおりである。
１．約１０重量％～約９０重量％の少なくとも一種のパラフィンワックスおよび約１０重量％～約９０重量％の少なくとも一種のフルオロポリマー微小粉末から本質的になる組成物。
２．前記フルオロポリマー微小粉末の平均粒度が約０．２μｍ以下である上記１に記載の組成物。
３．炭化水素溶媒を前記組成物に添加して前記組成物のペースト形態を作る上記１に記載の組成物。
４．前記溶媒がデカンである上記３に記載の組成物。
５．１５ｍＪ／m^2を超える臨界表面張力を有する上記１に記載の組成物。

６．前記組成物が約１０重量％～約５０重量％の少なくとも一種のフルオロポリマー微小粉末を有する上記１に記載の組成物。

７．上記１または３に記載の組成物を用いる方法であって、スノースライダー製品に前記組成物を被着させることを含んでなる方法。